

# 一般質問

東海林 孝 司

(民主クラブ)

## ■農業への就業人口減少 担い手育成と確保対策

**問** 2010年農林業センサスで、農業就業人口は5年間で75万人減少し、平均年齢が65歳を超えたことが明らかになった。今後も80歳代となった昭和一代世代を中心に離農が進む見通しである。高齢化の進行する速度に担い手の育成・確保の対策が追いつかないのではないか。観光や環境を融合させ地域振興を目指す本市において、農業の多面的機能を損なわず持続可能な農業振興策として担い手の育成・確保対策を進めるべき。経営者としての育成に向け、計画力・実践力など技術や経営的な総合力を習得するための研修制度の考え方を伺う。

**答** 営農技術や経営知識を学ぶ農業特別専攻科に対する支援や、自主的な取り組みへの助成、北大サテライトにおける課題研究など行っている。

**問** 第三者継承への課題は。

**答** 委譲希望農家と継承希望者の考え方の整理、信頼関係構築、研修方法、資産評価や譲渡方法、コーディネーターの役割などが必要な支援と認識している。

**問** 富良野方式継承の進捗は。

**答** 先進事例を参考に、本市の実情に合った方法を検討して確立していく。

**問** 農業経験の浅い担い手や、農業を目指す者に対して、各段階においての支援・応援体制の仕方は。

**答** 地域リーダー、経営感覚に優れた経営者の育成・確保に向け、関係機関・団体が連携してより効果の上がる支援対策を検討していく。



農業特別専攻科 (緑峰高校)

今 利 一

(市民連合)

## ■農協等と連携し調査対応

**問** 今回の農業被害に対しての認識と対策を伺う。特に、若い農業経営者が意欲の持てる対策をとるべきと考える。

**答** 今後の対応については、ふらの農協等と連携し調査、年末の資金対応等を検討する。

## ■今後も生活道を中心に除雪

**問** ベルイ零号線冬期間全面開通について、地元は観光ルートとして位置付けている。費用対効果だけでなく、過疎地域の活性化のため冬期間も開通すべきと考えるが市の対応は。

**答** 冬期間2700mの区間は住宅等の存在がなく、原始ヶ原も閉鎖。今後も生活道路を中心とした除雪体制の充実に努める。

## ■旧法務局買収は総合的に 考慮し新たな施設等検討

**問** 緑町児童保育に使用している児童会館が手狭になり、旧法



玉葱畑に流入した土砂

務局跡地を買収し、児童保育に活用する予定。しかし、利用者は減少の傾向と聞いているが、買収して児童保育施設として活用するのか。また、扇山小学校区における児童保育についての見通しは。

**答** 当初は、緑町児童館の混雑解消を目的に扇山小学校区に二つの児童保育センターを計画し、閉鎖された旧法務局の利用を予定。扇山小学校における児童保育に関する今後の見通しが少子化に伴い減少傾向にある。

平成23年4月以降財務事務所との協議を進める。協議期間が延伸し総合的に考慮すると、新たな施設の建設など含めて検討が必要。